

開催報告

支部事業 子ども実験企画

● 夏休み子供実験教室

『おくすり&サプリ 形のひみつ！～錠剤・カプセル 触って作って楽しく学ぼう～』

日 時：2025年7月30日（水）10：30-15：30

会 場：株式会社ファンケル 総合研究所（神奈川県横浜市戸塚区上品濃12-13）

主 催：日本薬学会関東支部

実験協力：株式会社ファンケル

実行委員長：深水 啓朗（明治薬科大学）

2025年7月30日（水）に、日本薬学会関東支部 2025年度 子ども実験企画『おくすり&サプリ 形のひみつ！～錠剤・カプセル 触って作って楽しく学ぼう～』を開催しました。今回は株式会社ファンケル様にご協力をいただき、幾度に及ぶ入念な打ち合わせを重ね、準備万端で臨んだ当日、カムチャッカ半島の地震による津波警報が発令され、主要な交通手段であるJR横須賀線が運転を見合わせるという、しかも集合時間の直前で、まさに想定外の事態に見舞われました。それでも株式会社ファンケルの皆さまがフレキシブルかつフレンドリーに対応してくださったおかげで、ほぼ全員（19組・37名）が午前中にはたどり着き、予定していたプログラムを楽しむことができました。

午前中は3グループに分かれて、（1）ファンケルさんの研究所見学、（2）錠剤の作成と評価、（3）お肌の測定 を体験させていただきました。それぞれのプログラムがよく練られているとともに、スタッフの方が親切に分かりやすく説明してくださり、子どもたちは目を輝かせていました。



研究所見学：普段は立ち入ることのできない研究所の内部を見学しました。



実験①錠剤の作成と特性の評価 左：ハンドプレスという打錠機を用いて，1人ずつ自分だけの錠剤を作成しました．右：崩壊試験機を用いて錠剤が崩壊する様子を観察し，時間を測定しました．



実験②皮膚の測定 左：ハンディ顕微鏡を用いて肌の表面を観察し，腕の内側と外側で“キメ”の細かさ等を比較しました．右：スキンチェッカーという装置を用いて肌の水分や油分量を測定しました．保護者の方がお子さまの肌質と比較されて悲鳴をあげる場面もありました．

午後は5つのグループに分かれて，午前中の実験を振り返るとともに，カプセルの充填にチャレンジしました．実験はファンケルの方が自作した完全オリジナルの装置（しかもすべて100均ショップ由来）を用いて，真剣に取り組む様子がうかがえました．いずれの実験もグループごとにファンケルの研究者が先生として実験指導を行い，皆が安全に楽しく実験を進めることができました．最後は，実験するだけに終わらず総合討論も行い，子どもたちの積極的な意見交換を通じて，普通の授業とは一味違う，まさに“研究”のスタイルを学ぶことができました．



実験③カプセル充填：カプセルに充填できた粉の量を量り，記録し，公表して，充填量や均一性を比較しました．子どもたちは意識していないと思いますが，これは，実は，医薬品製造の品質管理プロセスそのものです．



総合討論：実験の結果から分かったこと，考えられることを皆で発表し，共有できました．皆さんの積極的な姿勢に大人たちは目頭を押さえていました．日本の将来は明るい！



子ども薬学博士の認定証授与式：皆さん，おめでとうございます！



集合写真：ファンケルの皆さま，ありがとうございました！

株式会社ファンケルのスタッフの方々，参加してくださいましたお子様と保護者の方々をはじめ，皆様のご協力のおかげで本企画が無事に終了いたしましたことに深く感謝申し上げます。

子ども実験企画実行委員長 深水啓朗（明治薬科大学）